

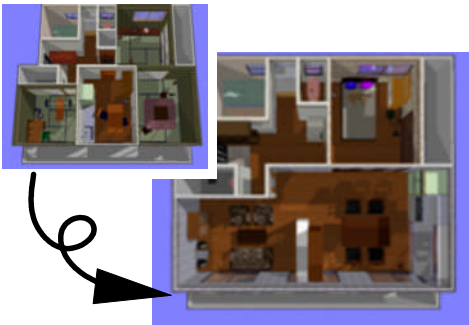
提案型仕事おこし戦略講座

築年数や間取りが同じ大型団地やマンションなら住まいの悩みも同じです。プランを自らお客さんに提案して仕事につなげていく学習を行います。

【日時】

1月23日(火)午後7時半~

【会場】埼玉土建会館

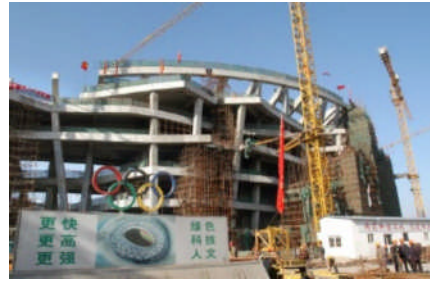


公園のリフォームプラン例

仕事を待つ時代から納得のリフォーム提案でお客様の心をつかむ時代に

加速する!!! 建材と合板の高騰 契約に当たっては十分な注意が必要

買材の高騰の要因の一つ、北京オリンピックの建設現場



原油高が住宅業界に品不足に拍車
素材・建材・設備価格の上昇、移動・運搬費の上昇、省エネ

材料費高騰での赤字には注意を
大幅に値上がりしたのが輸入合板。インドネシアやマレーシアの

安室の高まりなど、様々な影響をもたらしている。
石油系の素材価格の上昇と経済が好調な米国、ブラジル、ロシア、インド、中国の需要増が重なって、特に鉄、アルミなどの非鉄金属、樹脂、合板など基礎資材の価格が高騰している。建材設備メーカーも、相次ぎ3・10%前後の価格値上げに入った。

輸入合板が伐採規制で品薄。構造用合板に使用されるロシア産丸太も中国需要の増加で価格が高止まりとなっている。国産針葉樹合板の価格も上昇。合板はさらなる値上げも予測され、予断を許さない状況だ。予想外の材料費高騰で赤字を出さないためには、契約時に慎重な対応が必要となっている。

建築士法改定 構造設計で新資格 木造2階の構造審査義務化

構造・設備に新資格
建築士法などの改定案が成立した。建築士資格の見直しでは、5年以上の構造や設備の設計実務経験のある、講習を受けた一級建築士に対し「構造設計一級建築士」、設備設計一級建築士」の資格をあたえる。高さが20mを超えるRC造の建築物などは「構造建築士」による構造適合性確認が、2階以上で床面積

住まいの防犯アドバイザー養成講習会開催案内

埼玉県住まいづくり協議会が県との共催で「住まいの防犯アドバイザー」講習を行う。新しい営業ツールを身に着的つもりでぜひ受講を。

【日時】1月31日(水)か2月1日(木)のどちらか1日を選択
時間はともに10時~17時
【場所】県民健康センター
【受講対象】建築士、宅建士、防犯設備士、マンション管理士、建築設備士
【費用】3,000円
【申し込み期限】先着順1月19日まで
【問い合わせ先】同事務局048-830-0033

中小設計事務所・工務店に打撃
無審査の特例措置があった木造二階建て住宅についても、建築確認時構造審査が原則として義務化される。建築士事務所を管理する

管理建築士の要件も強化され、三年以上の実務経験や指定の講習を受けることなどが追加された。改定建築士法は二年以内に施行される。
耐震偽装問題を契機にした今回の法改定は、中小設計事務所の淘汰につながる危険が大きい。来年は、住宅業者への瑕疵担保責任の実効性を確保する措置が法制化される見通しだ。中小業者の選別淘汰につながる保険制度の創設を求める運動が必要だ。